

情報公開文書

1. 課題名

消化器腫瘍における遺伝子異常と臨床病理学的背景との関連についての研究

2. 研究の対象

- ・2005年4月以降に愛知県がんセンターまたは名古屋市立大学病院を受診し、消化器がんの検査、採血、手術を受けられた方
- ・2005年4月以降に愛知県がんセンターを受診し、検査、採血、手術を受けられた方

3. 研究期間

実施承認日～2022年12月31日

4. 研究目的

消化器がんは、がん死亡率の上位を占めている疾患で、新しい有効な治療法の開発が求められています。そのためには、発がんに関わるメカニズムを明らかにしていくことが大切と考えられます。近年、がんができるには遺伝子変異に加え、エピジェネティックな異常（遺伝子の発現を制御する機構）が関わっていることがわかってきました。本研究グループでは、発がんに関わるエピジェネティックな異常の解析を中心に行い、新しい治療法や診断法の開発につながるような研究を行います。

5. 研究方法

消化器がん患者様およびそのほかの消化器疾患患者様より、手術や検査等で採取された腫瘍組織や血液等からDNA、RNAあるいは蛋白質などを抽出して解析します。

エピジェネティック異常や遺伝子変異、発現を解析するためにはPCR法という方法で解析します。また多くの遺伝子を解析する場合はマイクロアレイや次世代シーケンサーという方法を使用して解析します。

6. 研究で用いる試料・情報の種類

試料：手術や検査で採取した組織、血液など

情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、合併症、喫煙、飲酒量、転帰、血液検査結果、画像検査結果、手術所見、病理学的検査結果など

7. 研究実施場所

この研究は名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学で実施されます。

8. 個人情報の保護

氏名、生年月日、などは匿名化され、検体には研究独自の番号が付与され、患者様の氏名など個人を直ちに特定できる情報がわからない状態にして解析が行われます。研究結果は個人を特定できない形にした後に学会発表や論文発表を行います。腫瘍生物学HPにも掲載する予定です。

9. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学 助教 新城恵子
名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学 教授 近藤 豊
名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学 高橋 智
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 教授 城 卓志
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 講師 林 香月
愛知県がんセンター研究所 遺伝子医療研究部 部長 松尾恵太郎
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科 部長 原 和生
愛知県がんセンター中央病院 消化器外科部 部長 清水泰博
愛知県がんセンター中央病院 遺伝子病理診断部 部長 谷田部 恭

10. 問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。試料・情報などが当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象にしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

連絡先

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学

担当者：新城恵子

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号 052- 744-2463

FAX 番号 052-744-2464

e-mail kshinjo@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学 新城恵子